

法人（事業所）理念		発達に遅れや偏りのあるお子さんを対象として、子どもたちが、ご家族や地域とのつながりの中で、「楽しくまなび、楽しく過ごす」ことを目指します。				
支援方針		<p>お子さんが楽しめる場所を作ります。お子さんの「強み」を見つけます。お子さん一人ひとりに合わせた課題を見つけます。チームで療育を行います。地域に貢献します。</p> <p>他の療育・保育・教育機関との協働を大切にします。</p> <p>幼児の頃から変わらぬいつもの通所先として、お子さんの様子に合わせて、個別・小集団のサービスを提供します。家、学校以外の居場所としても安心して過ごせる環境を作ります。</p>				
営業時間		月～金	8時30分から	17時30分まで	送迎実施の有無	あり
		土	1月に1,2回 開所			
支 援 内 容						
本 人 支 援	健康・生活	大人や友達とのやりとりを楽しめるよう、支援員が援助し、放課後お子さんが安心して過ごせる場所を提供します。持ち物の管理、道具や遊具の用意と片付けなど、環境の整備を自立的に行えるよう支援します。複数の部屋を使ったり、お子さんが自分のことに集中しやすい環境を作ります。タイムタイマー、絵や文字のスケジュール表などを使って、予定をわかりやすく伝えます。				
	運動・感覚	着席して活動する時間と部屋のいろいろな場所で自由に遊ぶ時間を設けます。座った姿勢を維持しやすいよう、お子さんに合わせたいすや机を用意します。文字をなぞったり書いたりすることや迷路、道具を使った制作活動などを通じて、目と手や体を一緒に動かす練習をします。				
	認知・行動	具体的なものや絵カードを使った課題やプリント学習の中で、数の操作、形、長さ、大きさ、時間などの概念を学びます。活動の終わりの時間をタイムタイマーで知らせる、時計にシールを貼って示すなどして、時間を意識して自ら行動することを支援します。個別の部屋を用意して視覚刺激の少ない環境を作る、イヤーマフを使用するなど、必要に応じて、個々の感覚特性に配慮した環境を設定します。				
	言語 コミュニケーション	自分のしたいことを伝える、手伝ってほしい時に援助を求めるなど、生活の中で自分自身を大切にするために必要な行動を、適切な場面で発揮できるよう支援します。お子さんの特徴やニーズに応じて、絵カードや身振りや文字を使ったコミュニケーション手段を活用します。プリント学習を通して、文字で表したり、文字を読んで理解したりする力をつけます。集団遊びの中で、「入れて」「貸して」と言って相手の返事を待つ、「いいよ」と応じる、「今使ってるよ」「あとでね」と断るといった友達とのやりとりがスムーズにできるよう支援員が見本を見せたり助言したりします。				
	人間関係 社会性	グループ活動や、集団遊びの時間を通して、順番に行く、ルールを守る、友達と協力する、失敗や負けを受け入れるといった、他者と一緒に生活していくために必要なスキルを身につける機会を作ります。友達との関わり方に関して、支援員が見本を見せたり、助言したりして、肯定的なかかわりが増えるよう支援します				
家族支援		見学室を用意し、家族が支援の様子をモニターで見られるようにします。困り事があった時には、管理者、児童発達支援管理責任者にいつでも相談できる環境を整えます。	移行支援		必要に応じて、学校でのお子さんの様子を見学したり、学校の先生とお子さんの様子や支援方針について、情報共有したりします。	
地域支援・地域連携		お子さんの通っている他の発達支援事業所などと情報共有するなどして連携を図ります。		職員の質の向上		年に3回以上の内部研修を行い、障がいへの理解を深めたり、新しい支援方法を学んだりします。隔週のスタッフミーティングで、現在の支援方針について検討し、お子さんや支援方法に関する情報を共有します。職員の外部研修への参加を奨励します。
主な行事等		避難訓練（地震津波、火災、水害、年2回以上）、熱中症対策指導、交通安全指導、不審者対応指導				